

令和3年度第1回鹿児島県地域訓練協議会で出された主な意見

	有識者	産業界(労使)	訓練実施機関	行政機関等
1 制度の周知について				
2 地域特性を踏まえた訓練設定について	<p>昨年度の年度末3次補正にて、大学も離職者向けの教育プログラムを行っている。鹿児島大学では離島分野と林業の分野2つの教育プログラムを実施しているので委員の方々に紹介したい。両方とも10月・11月から講習が始まっているので、必要であれば情報提供させていただきたい。(鹿児島大学・枚田委員)</p>			
3 人材不足分野について	<p>介護事業者が掲載された新卒応援向けのYouTubeチャンネルを拝見しているが、介護のコースを選ぶ人たち向けにも情報発信してはどうか。 介護職はきつい等のイメージを払拭することにとどまらず、働く意義、やりがいや、職員の方々が生き生きと一生懸命働く姿がYouTubeでUPされているので、入口の段階で活用しても良いのでは。(県経営者協会・田島委員)</p>			<p>求職者支援訓練において特に介護分野の受講者が少ない点を踏まえ、令和4年度の計画策定方針(案)では、「介護系の求人ニーズは高いものの、応募状況が低調なことから、県の委託訓練等との競争を避けるよう、各四半期ごとの計画数の配分の調整に努める。」との記載をいただき、介護の訓練コースの募集について配慮いただきありがたい。(県社協・竹内委員代理)</p> <p>県社協では県内全ハローワークで月1～2回職員が出向いて巡回相談を行っているが、ハローワーク鹿児島以外での相談者が全くいない状況である。その要因として、周知広報が十分でない点もあると思うが、各ハローワークでも一層の周知広報にご協力・ご支援をいただきたい。(県社協・竹内委員代理)</p>

令和3年度第1回鹿児島県地域訓練協議会で出された主な意見

	有識者	産業界(労使)	訓練実施機関	行政機関等
4 受講者属性等を踏まえた訓練設定について				
5 訓練実施機関について				
6 総論的意見について				
7 その他 (上記1～6以外の意見)				